

第2回京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議次第

日時：平成26年8月26日（火）

15:00～

場所：メルパルク京都

第4研修室

1 開会あいさつ

2 議題

（1）前回の協議結果概要報告

（2）方策検討・意見交換

（3）次回会議について

京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議委員名簿

①学識経験者

坂上 英彦	京都嵯峨芸術大学芸術学部デザイン学科教授/京の景観形成プラン、京都府文化力創造懇話会、関西観光・文化振興計画検討委員/海の京都実践会議メンバー
-------	---

片木 孝治	(株)応用芸術研究所代表取締役/(一社)北陸古民家再生機構 理事
-------	----------------------------------

滑田 教夫	京都旅企画 代表取締役/京都府農林水産部水産課政策検討委員/京都府観光課政策検討委員/
-------	---

②地元関係者

今井 一雄	宮津商工会議所会頭/天橋立を世界遺産にする会会長/丹後地域戦略会議委員/海の京都実践会議メンバー
-------	--

沖田 真奈美	(株)アウルコーポレーション副社長／海の京都実践会議メンバー
--------	--------------------------------

河嶋 学	宮津市 企画総務室長
------	------------

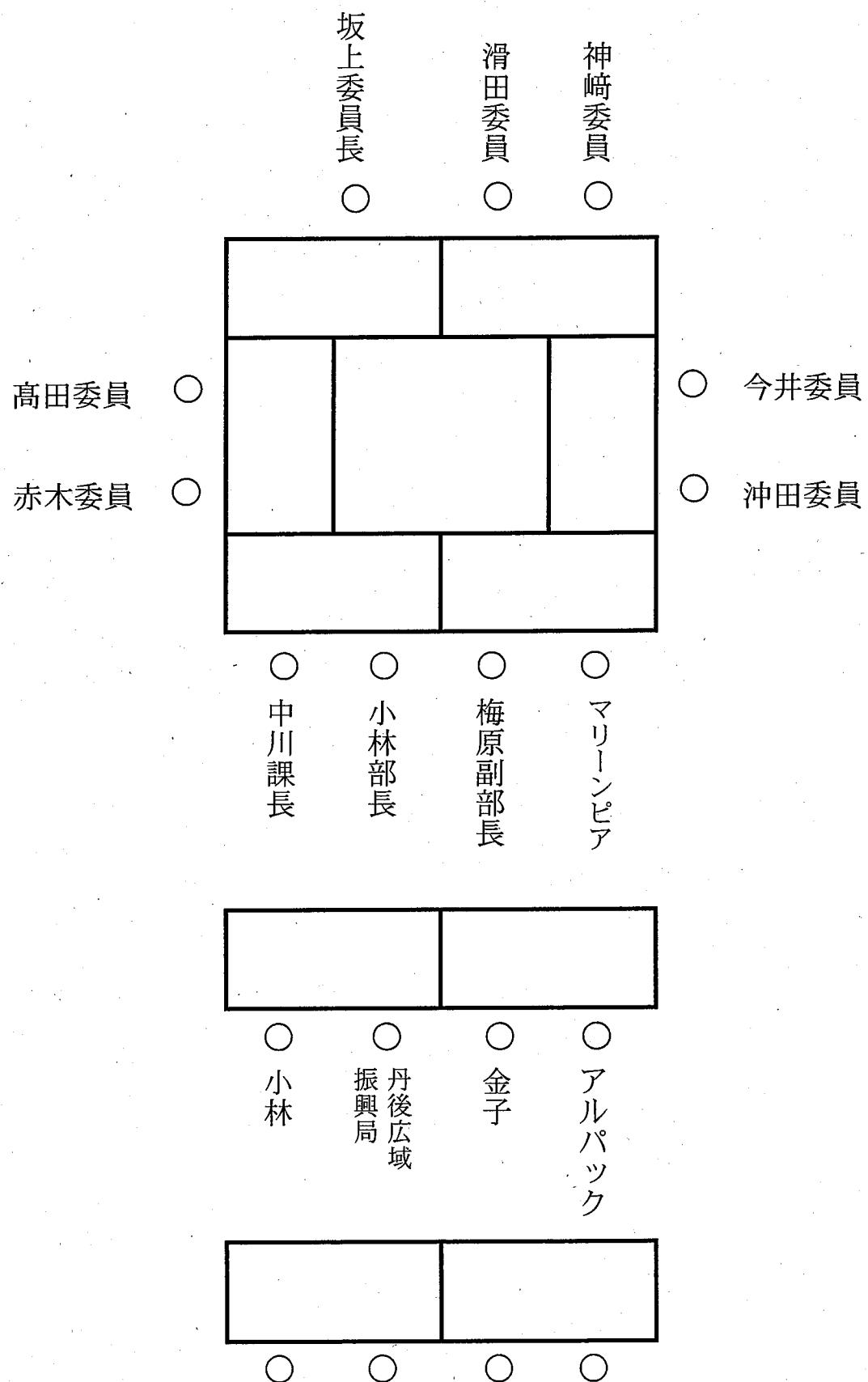
③青少年等関係団体

神崎 清一	(公財)京都YMCA総主事/京都府青少年すこやか育成プラン検討委員/
-------	------------------------------------

高田 光治	(一財)京都ユースホステル協会 理事／統括部長
-------	-------------------------

赤木 一成	全国大学生協組合連合会・京滋・奈良ブロック 事務局長
-------	----------------------------

第2回京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議 配席図



マリーシピアに係る課題、方向、課題解決のための施策

項目	現状・問題点	方 向	施 策	案
利用状況	<p>宿泊者数はピーク時の6割程度。 利用者の7割が夏期に集中。</p> <p>○利用者の内訳は、小・中・高生が大半(引率者も含めると90.3%) ○大学生の利用者は極めて少ない(2.0%) ○府内の小学生の宿泊者数4,155人・宿泊率3.1%、中学生1,025人・1.4%、高校生1,806人・2.5% ○少子化が進む中、ピーク時と比較して利用団体数は約1割の減少、1団体当たりの利用人数は約3割減、宿泊者数は4割近く減少(平成7年度の宿泊者数26,090人→平成25年度16,002人) ○年間利用者の7割が夏期(5~8月)10,964／16,002人)、3~4月、9~12月の利用促進が必要</p>	青少年向けプログラムの充実	(教育プログラム)	
宿泊施設	<p>比較的安価な料金だが、類似施設はさらに低額。競争には不利。</p> <p>○大部屋のみ、団体の宿泊には適する(10人部屋×20.5人部屋×5) ○比較的安価(小学生700円、中学生900円、高校生1,200円、一般2,300円) ○国立施設(若狭・曾爾)は青少年の宿泊料無料 ○京都市立施設(鳴羽、花脊)は市立校の宿泊料無料 ○その他2施設(るり渓、奥越高原(福井))もマリーシピアより安価(宿泊費半額以下) →直段で他の類似施設と競争できない。</p>	(雨天時のプログラム)	(④脱出ゲーム ⑤3Dプリンター教育施設の設置)	

<p>体験施設、体験プログラム</p> <p>○カッターの利用は多いが、その他のマリンメニューは人員不足のため、活用されていない。</p> <p>○館内の「海の科学館」は、老朽化により閉鎖。</p> <p>○屋外のアスレチックは、塗装がはげ、周辺の雑木に埋没。</p> <p>○体育館(89.7%)、カッターライド(52.3%)の利用が多い。</p> <p>○カッターは16人定員の船が3隻しかなく、大人数の団体ではローテーションが組みにくく。</p> <p>○アスレチック施設(17.7%)は塗装がはげ、周辺の雑木に埋没、目立たない。利用者アンケートで改修の要望が高い。</p> <p>○B&G財団のカヌー、ローボート、ヨットがあるが、監視員の不足により、利用希望者があつても利用できない状況。</p> <p>○海の科学館が老朽化により閉鎖されている。</p> <p>○雨天時のプログラムが用意されていない。</p>	<p>顧客拡大のための施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥学生向けパッケージツアーの実施 ・部活・サークルやミニグループを対象としたツアー商品を開発 ⑦季節限定特別レストラン ・高校生レストラン・有名シェフが作る料理提供等 ⑧芸術系大学生による宿泊室のデザインコンテストの実施 	<p>その他施設</p> <p>○築後30年以上を経過し、既に修繕が必要な箇所多数</p> <p>○建設後、30年以上を経過し、老朽化が進行</p> <p>○現在、不都合のある箇所等</p> <p>○研修棟(雨漏り)、救助艇(船首に穴)、非常用電源(機能劣化)、貯湯槽(内側保溫材剥落)、和式トイレ(洋式への改修)、カッター(老朽化で船底が腐食)、地盤沈下(芝生広場他)</p> <p>丹後の旅行者は、年配、家族連れ等が多く、温泉や美味しいものが目的</p>	<p>その他</p> <p>○丹後・天橋立エリアへの一般旅行者の傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行目的:地元の美味しいもの(33.1%)、温泉や露天風呂(19.7%) ・客層:50歳以上が半数以上を占め、家族や恋人と訪れるが全体の8割以上 ※宮津市内の簡易宿泊所17、旅館・ホテル46、公営2 <p>⑨美しい丹後の海を巡るサイクリングの拠点設備の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルスポーツ用設備整備 ・裏山遊歩道を自転車用トライアルコースに整備
--	---	--	--

青少年向けプログラムの充実(教育プログラム)

プロジェクト①	“丹後海の生活を知ろうプロジェクト”	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・漁師の仕事や生活を知る ・漁村に民泊 ・丹後で捕れる魚介類を、自分で捌いて調理して食べるプロジェクト 	
趣旨	漁師の仕事や生活を知る、また「とて、たべる」という「いのち」をいただく「食育」体験を行うことで、子どもの魚離れを防ぐことを目的に実施	
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市及び近隣の小中学生 ・天橋立を訪れる全国各地の修学旅行生 ・親子連れバスツアー(親は別プログラム(ホテルで食事など)) 	
PR方法	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市及び近隣の小中学校へPR ・修学旅行や企画旅行を展開する旅行代理へPR 	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元漁協の漁師の方に、漁師の仕事や生活の話をしてもらう ・地元漁協に協力を求め、とれたての魚介類を提供してもらう(場合によっては釣り体験も) ・漁協婦人部や地元自治会婦人部、地元レストラン事業者などの協力を得て、魚のさばき方、調理方法講習を実施 ・夜は魚介類のバーベキューを実施 等 	
施設改修	<ul style="list-style-type: none"> ・海の科学館のスペースを、調理スペースとして改修 ・屋外に、魚をさばいたりできる水場を設置 ・屋外に、バーベキューコーナーを整備 	

プロジェクト②	“海洋教育プログラムの充実”	
概要	ヨットハーバーでの、海の体験プログラムを民間企業の協力を得て実施	
趣旨	海洋プログラムの充実は必要であるが、監視員等の人員の配置が困難であるという状況があり、海洋プログラムの提供を行うモンベルに協力をあおぐ	
ターゲット	・マリーンピアに宿泊する小中高生	
PR方法	<ul style="list-style-type: none"> ・モンベルHPにおける広報依頼 ・京都府内の小中高校へのPR 	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌー・カヤック ・スタンドアップパドルボート 等 <p>※必要に応じて艇庫の提供</p>	 

プロジェクト③	“海外青少年との交流事業”	
概要	宮津市との姉妹都市であるネルソン市の青少年との交流	
趣旨	文化や言語を異にする青年たちと相互に交流することで、国内では得られない情報や経験を共有し、そうした経験を経た、次代を担う青少年達に地域に新たな風を起こすような存在となってもらうため	
ターゲット	宮津市内の中高生	
事業内容	マリーンピアを拠点とした様々な交流活動の実施	

顧客拡大のための施策

プロジェクト⑥	“大学生向けパッケージツアー”
概要	・大学生向けにオプションをつけた旅行商品を開発する
趣旨	現在、大学生の宿泊利用は2%にとどまっており、今後利用増加が見込める。そこで、ゼミあるいはサークル合宿による利用をはかるべく、丹後までのアクセスの悪さを克服できるようなオプショナル商品とセットにしてツアーを提案する
ターゲット	大学生
PR方法	・大学生協へのPR ・企画バスツアー等を展開する旅行代理へのPR
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを借り上げ、京都市内からの送迎をおこなう ・特別食の提供 ・大学〇回生について、期間限定で宿泊料無料といった特典 (参考)リクルート「“雪マジ”プロジェクト」 スキー場利用の際、ある一定の期間内について、〇〇歳限定、リフトの利用券等を無料で提供し、バスツアーとセットで提案するというプロジェクト
施設改修	・ゼミ合宿で訪れた学生が活動する場所として、「海の科学館」跡地にワークスペースを設置



プロジェクト⑦	“季節限定 レストラン”
概要	閑散期である秋冬限定で、有名シェフによる、あるいは高校生によるレストランを開設
趣旨	海の施設の特性上、夏期に利用が集中し、秋冬の利用がどうしても少なくなるため、目玉となるような単発イベントを実施する
ターゲット	一般客
PR方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルのシェフを呼ぶ場合にはホテルからのPR ・高校生レストランを開く場合には、保護者等へのPRを学校からしていただく ・宮津市への広報協力を依頼 ・高校生レストランの場合には、報道機関への記者発表をおこなう
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市内のホテルのシェフに1日限定のシェフとしてマリーンピアにきていただき、「海の科学館」の2階にて、展望レストランを開設 ・プロジェクトに協力していただくよう学校に依頼したうえで、指導者を呼び、高校生による調理・給仕を行う
施設改修	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の科学館」2階を展望レストランとして使えるよう整備 ・調理に必要な食器等の調達



ハード整備(利用拡大、魅力アップのための新たな機能、施設改修 等)

プロジェクト⑨	“美しい丹後の海を巡るサイクリングの拠点施設の設置”
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マリーンピアを中心に、美しい丹後の海を巡る周遊ルートの設定 ・気軽に立ち寄れる開放スペースの設置 ・遊歩道を一部活用して自転車のトライアルコースを設置
趣旨	施設の目玉となり、新たな誘客につなげるための設備整備
ターゲット	大学生及び一般客
PR方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「tantanロングライド」大会開催時にPRの時間をもらう ・大学サイクリング部へのPR
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊ルートの作成 ・シャワー、トイレの利用受入
施設改修	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車に係る設備等の充実(空気入れ、バイクスタンド等) ・「海の科学館」跡地の1階をフリースペースとして外から入場できるように改修 ・裏山の遊歩道の一部に自転車のトライアルコースを設置
備考	6月補正にて要求したもののゼロ査定

